

令和6年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
22	川崎市立南河原小学校	宝谷 拓之

学校教育目標	今年度の重点目標
明るく…心身ともに健康で心やさしい子 強く…よく考え進んで実践する子 正しく…勤労と責任を重んじよく協力する子	(1)心豊かな人間関係づくり (2)確かな学力の向上 (3)体力の向上と健康・安全教育の充実 (4)地域に根ざした特色ある学校づくり

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1	・人権尊重教育の充実とキャリア在り方生き方教育の推進	・他者を意識した言動や行動ができるようになり、互いを尊重しあう雰囲気づくりが成されてきた。 ・学習活動の中でも協働する場面が増えたので、互いを尊敬し支えあう心が育ってきた。	・児童理解を含めた心の教育について、学校全体で連携を図っていく。 ・共生・共育プログラムを活用して人間関係づくりに努め、効果測定の結果を参考に改善していく。
2	・異学年交流の充実	・6年生が中心となって運営し、定期的に活動することができた。優しさや思いやりの心が生まれ、リーダーとなる6年生を尊敬する児童が増えてきた。	・異学年交流を継続させていくために必要な条件を精査し、今後の活動に生かしていく。
3	・児童一人一人を主語にした学習サイクルの展開	・他者参照しながら、自力で課題を解決していくプロセスが身につけてきた。複数の目で児童を見取ることができ、児童理解が深まった。	・深い学びに迫ることができる学習過程を意識し、授業改善に向けた研究を進めていく。
4	・GIGA端末とクラウド活用による個別最適で協働的な学びの一体化の充実	・教科の見方・考え方について常に意識できるようになってきた。今後は汎用的な見方・考え方も定着させたい。	・自校での研究を深めるとともに、先進校の取り組みを積極的に取り入れて実践する。
5	・児童理解と支援教育の充実	・コーディネーターを中心とした支援体制の構築され早期解決につながった。 ・担任の児童を見取る力の向上も必要である。	・児童理解を深めるための連絡会や研修の充実と教員相互の連携を図る。
6	・児童の健康体力の増進	・運動の時間の確保や用具等の整備をする。健康・安全教育を充実し、児童に運動や健康への関心を高める。	・授業等でも健康の維持や運動の必要性を啓発していく。
7	・地域連携	・地域の方を招いて人や自然とふれ合う授業を行い、子どもたちの地域への関心を高める。また、学校に関する情報を懇談会、ホームページ、メールなどで発信する。	・外部人材の積極的な活用等、多くの人の協力により学習活動が展開できている事を児童にも実感させる。 ・紙面による情報を求める方もいるので、より良い方法を模索していく。
8	・外部人材活用の周知	・ホームページ(学校だより含む)に外部人材活用やコミュニティスクールに関する情報を掲載し、保護者等へ周知を図る。	・学校運営協議会のメンバーを中心に、保護者・地域住民にも積極的に学校教育活動に参画してもらい得るような体制を構築する。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
本校の特色である異学年交流が新聞、雑誌等にも取り上げられたので、南河原小の良い伝統を6年生から下級生に引き継いでほしい。GIGA端末とクラウドを活用した令和の新しい学習スタイルが市内にも波及してきたので、川崎を代表する学校としてがんばってほしい。協議会委員のみならず、保護者にも学校の様子を見てもらう機会を増やしたので、保護者からの信頼も高まったと思う。アンケートの結果は、昨年度と比較し、どの項目においても高評価を得ているので、引き続き信頼のある学校づくりを進めてほしい。	すべてオンラインによる回答を実施した。保護者回答率は昨年度の80%以上には届かなかったが、紙面回答を廃止したことを考慮すると70%以上は高い回答率であると思う。アンケート項目については、昨年度のものをもほぼ踏襲し比較検証した。その結果、どの項目においても昨年度をしのぐ高評価をいただき、学校評価をもとに改善してきた成果が実った。学校からの情報発信が高く評価されてきたので、今後も積極的かつ工夫しながら発信していきたい。また、地域・保護者にも開かれた学校づくりを進め、安心して通える学校をめざしていきたい。市内に向けては、授業研究の成果を一層広めていきたい。